

シルバ－ 江田島



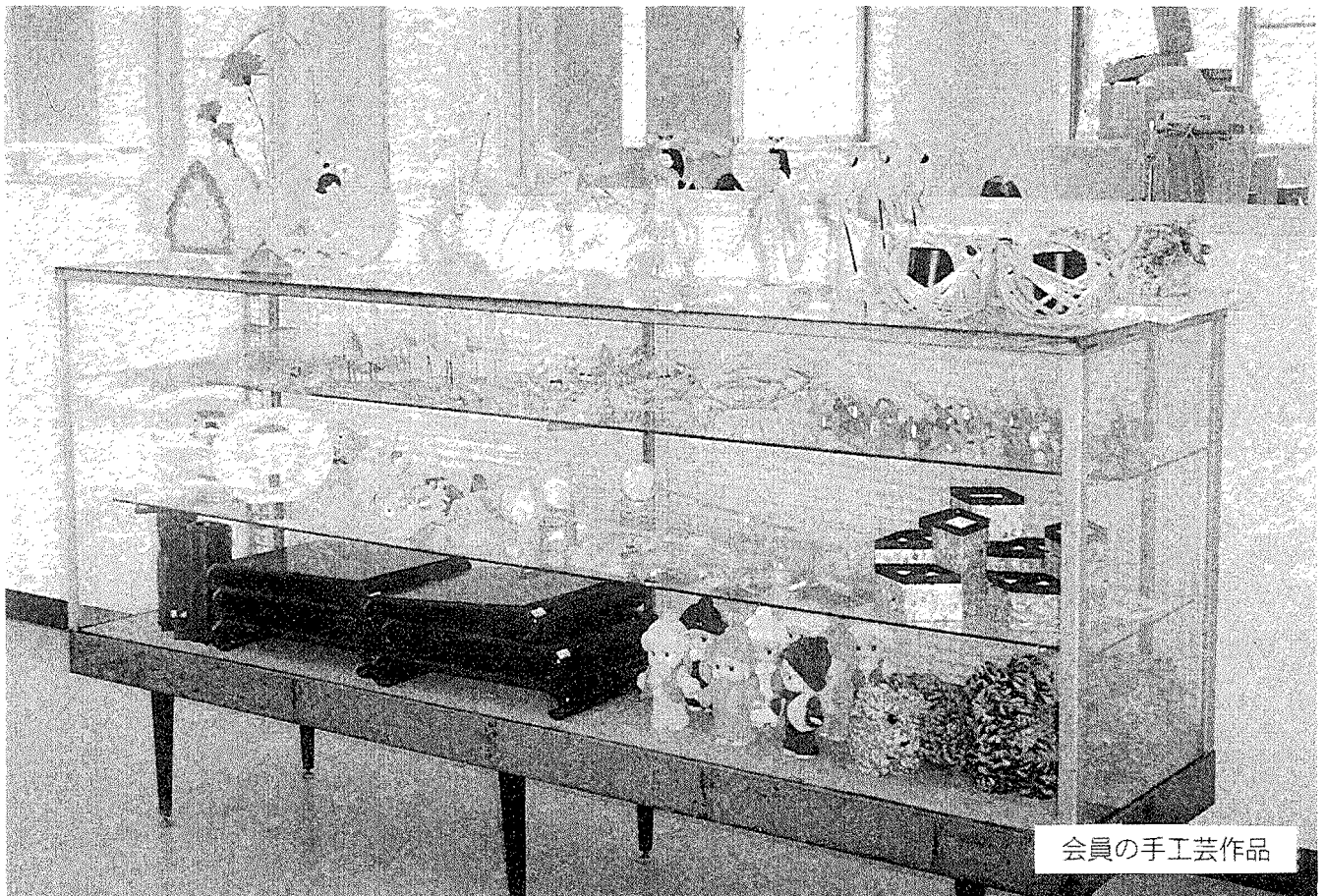
第 12 号

平成10年7月1日

＜発 行＞

（社）江田島町シルバ－
人 材 セ ン タ ー

江田島町中央1-15-15
江田島町シルバ－ワークプラザ
TEL (0823)42-5211



会員の手芸作品

私は竹細工を始めて三年余りになります。材料の竹は、江田島に色々な種類の竹が無数にありますが、十一月頃切るのが最も良いとされています（竹に虫が入らない）。暇と材料と道具があれば、誰にでも出来ると思います。問題はやる気があるかないかで決まります。苦勞に苦勞して出来上がった時の喜びは、作った者でなければわかりません。

現在、シルバ－センターでは五・六人の有志の者が、出来た物を持ち寄って批判しあいながら作っています。三人寄れば何とやらで、段々と良い物が出来るようになったと思います。一つ出来あがれば、次は何を作ろうかと、またゼロからの出発で、本とか旅行先で見た物を作っていきます。センターでは色々な道具を揃えていただき、仕事が非常にやり易くなり、能率も上がるようになりました。

皆さんも先ず作業場を見ていただき、気が向いたら暇を作り、自分に合った物を作ってください、歓迎します。面作り、木工芸品、竹細工等で、木工旋盤も入っております。

町から立派なワークプラザを作っていたいただき、最大限に利用し、皆で仲良くセンターを盛り上げていくではありませんか。

— 山本 —

平成10年度五月期 通常総会に出席して

平成十年五月二十六日午後一時から町役場三階大会議室で開催された通常総会に出席しました。

総会は、当会員五十六名が出席して、左足にギブスを嵌めた風呂井事務局長の司会で開会されました。

山佐理事長の挨拶で

一、独自事業の定着

二、ワークプラザ完成を期に中身の充実

三、経費の一割カットをして運営する

旨が表明されました。

つづいて町長代理の崎山福祉保健課長の会員への感謝と励ましのメッセージ、町議会議長の事業拡大を念ずる挨拶、県商工労働部長代理中塩高齢者対策担当官の行政の期待と励ましのメッセージを聞きました。そして、議長に切串地区の井川伍さんを選び、総会は進行されました。先ず事務局長の事業報告、次いで下平事務局次長から収支決算が報告され、承認されました。つづいて十年度収支補正予算の提案説明。質疑はなく提案通り承認され、総会はつつがなく終了しました。

今回特に感じた事は、皆は「自主、自立、共働、共助」の理念どおり第二の人生で地元貢献し、自分が満足しているのか、会場は終始和やか



な雰囲気でした。独自事業の拡充とワークプラザ落成、新しい年度への希望が有る反面、長い間馴れ親しんだ当シルバ－センターの活動拠点であり、安息の場であった「ふるさと交流館」を離れる事になったので一抹の寂しさが残った総会でした。

十分休憩の後、年齢より十才位若くみえる新谷武士氏により『素晴らしい生き方を求めて』と題して記念講演が行われました。

開口一番「あなた方は朝目が覚め

てセガレが起きていますか。起きていない人は手を挙げて下さい。」との問いかけに、やや緊張していた会場が一気に緩みました。手を挙げた人が多数でした。

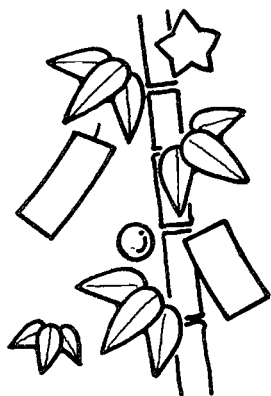
「わたしは老後を有意義に生きる為に五志向としています。その一は自分志向、二は悠々志向、三は不老志向、四は遊び志向、五は向上志向。次に三上練磨。一に良い場面に出合う、二に良い人に出合う、三に良い本に出合う事です。朝起きた時、今日はこれをしようと、目標を作る事にしています。そうすれば一日気持ちに張りが出る。そして、常に心を健康にしている、病気とは適当に付き合っています。その方法として一

少三多、つまり、腹八分、また④良く働き、②良く休み、③良く笑うよ

ようこそ、新しい仲間の皆さん

—平成10年度新入会員紹介—

沖本 拓太 (秋月)
下本 孝子 (小用)
下田 平都子 (小用)
加藤 孝右 (鷺部)
平本 貞香 (鷺部)
加藤 尚子 (鷺部)
梶本 咏子 (鷺部)
岡村 政樹 (小用)
荻山 力夫 (中郷)
三浦 都子 (江南)
森下 貞子 (江南)
高橋 美智子 (切串)



仲松 峰雄 (宮ノ原)
藤 信文哉 (切串)
中濱 須磨子 (小用)
山口 武信 (向側)

うにしています。さらに、健康で知的な老人になる為、一に一日一読(本)、十に十分間体操をする、百に一週間に食材を百種類食べる、千に一日に千文字書く、万に一日に一万歩歩く、以上の事を課しています。最後に、相手の長所を尊重し、仕事は自分から心を込めてやり、挨拶は自分からして、何がしてあげられるかと考えると、心が健康で豊かになります。それに子孫に何を残すか、そうだし様を残す。

今の時代は七掛けの時代と言われています。即ち年齢より三十パーセント若い身体だと自信を持ってこれからの人生を生きましょう。」と結ばれました。講演は結局十分オーバーすることになりました。(M・K記)

班長研修

宇多津町を訪ねて

二月二十三日、二十四日の二日間
にわたり、山佐理事長ほか十三名は
香川県綾香郡宇多津町シルバー人材
センター等の研修を行いました。

宇多津町は、香川県の中央部西寄
りに位置し、東は坂出市、西は丸亀
市に隣接した人口約一万五千人、総
面積八、〇七平方キロで、当江田島
町に比し約四倍という人口密度の高
い町です。

研修会は、先ず高木理事長の歓迎
の挨拶で始まり、次いで山佐理事長
の訪問の主旨の挨拶があって、大要
次のとおり説明がありました。

設立年月日 H3. 11. 19				
人 口	男 女 別	男 性	女 性	合 計
		7,681	7,908	15,589
会 員 数	60才以上	1,195	1,641	2,836
		135	119	254
役 職 員 の 構 成				
		理事 11名	監事 2名	
		職員 5名 (男性 4, 女性 1)		

公共、事業所、個人別内訳

H9. 4～H10. 1

区 分	契約件数	割 合	契 約 金 額	割 合
公 共	269件	19.4%	33,599,496円	45.9%
事業所	633	45.6	30,409,936	41.5
個 人	485	35.0	9,226,996	12.6
合 計	1,387	100.0	73,236,428	100.0

公共：民間比率 46：54

割と事業所からの受注が多く、こ
の度企業十社に対し表彰を行いまし
たし、公共に対し民間の比率が高く



なっております。町営住宅等の小修
理等については、男女でペアを組み
各家庭に出向いて行っており、また
特殊な事業としては、正月用の「し
め縄」の制作を行い約六〇〇個の受
注に対応しています。これらについ
て質疑応答があり、予定時間を三十
分余りオーバーし、実りある研修を
終えました。

翌二十四日朝八時に集合、荷物は
ホテルに預けて雨の中、傘をさし杖
を持ち金比羅宮に参拝、我々と同年
輩のガイドにより七八五段（七八六
段のところ一段下った所がある）靴
は湿って靴下までぬれて来ましたが、
一段一段と足を踏みしめて上るも息
が切れてくるし、ホテルの傘は布地
が薄く傘が動けば頭に肩に濡がかか

障子の上手な張り方 — 清賀会資料から —

七、

霧吹きをする
糊が乾いてから、糊をつけた
反本側から吹きつける

六、

障子紙の回りを切る
回りをヘラで押さえ、余分を
切り落とす。（定規をあてる）

五、

障子紙を張る
上下の長さは3cmほど長
く切り、棧を竹べらで押
さえ、内から張る

四、

棧に糊をつける
むらのないよう均一に
棧の横にはみ出した糊は
拭きとる。

三、

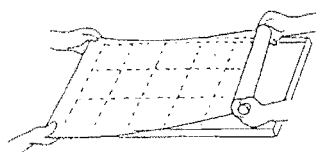
糊を作る（糊対水は一对一）

二、

立てかけ、雑布で汚れ、ゴミを拭きとる

一、

古い紙をはがす
刷毛で水をたっぷり棧につけ、竹べらで糊をはがす



30度位の角度で引く

図5-2

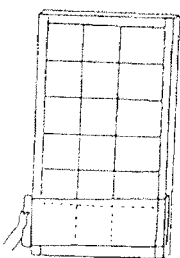


図5-1

る。これだけ苦労してお参りするの
だからきつとご利益があるに違いな
いと自ら慰めつつ往復六キロ、一時
間三十分かけてのお参りとなりました。
続いて善通寺に参拝後、中津万
象園を見学、一六八八年京極三代藩
主高豊侯が中津の海浜に丸亀藩中津
別館として築庭されたもので、一万
五千坪（四九、五〇〇平方メートル）

の園内には、白砂青松の松原、庭の
中心には京極家先祖の地である近江
八景になぞらえて八つの島を配し、
その島々に橋をかけた回遊式の大名
庭園でした。

出発がやや遅れて十三時、坂出イ
ンターから倉敷ジャンクションを経
て西条インターで高速道を下りて、
一日中雨の中十七時に帰着しました。

汗を流しての 石垣の補修



五月の中頃の雨あがりのむし暑い日、矢の浦にある浜根さん宅の墓地にある石垣の補修作業があると聞き、出かけました。

私が現場に着いた時は、作業をどう進めるかの打合せの最中。みれば石垣の中ほどがふくれており、とっつきは石が崩れ、地肌が見えていました。

「石垣をつく時に、石の後にグリを入れたり、セメントで固めたりしてないけん、腹が出たんじゃ。」

「全部をやるとおとおとじゃけん、今度は崩れた所だけをする。」

打合せを終えて、私の問いかけに答えてくれます。

「久しぶりにオイコで砂やセメントを運んだ。」

急な坂を登るのは大変だと思いましたが。

「崩れた所をつくが、水が流れないように工夫せんと。水は弱い所弱

い所に来るから。」

崩れた箇所の下三分の一くらいは石垣が残っています。その上はぼっかり穴があいたよう。そこにパイプをさしこみ、小石をその下に並べセメントで固めます。石垣の角から、げしにそって板をはり、鉄筋を入れてセメントを流しこみます。角の残っている石垣の奥は空洞のようにすき間ができています。

「ここは相当はいるぞ。」

「グリを入れよう。」

「セメントは相当いれなきゃいけん。石垣が腹を出しちゃいけん。」

竹を使ってセメントをすき間に押しこみます。

「つつきよりゃあ、やおうなって下にはいるけん。」

と説明してくれます。一人が竹で突き、一人がセメントを入れる。あとあとのことを考えた作業に感心しました。

支える仲間

「この作業、三人で三日くらいかな。」

Yさんが、汗を流しながら答えてくれます。

「お気をつけて。」の言葉を残して現場を後にしましたが、ブヨにくわれるのは閉口しました。

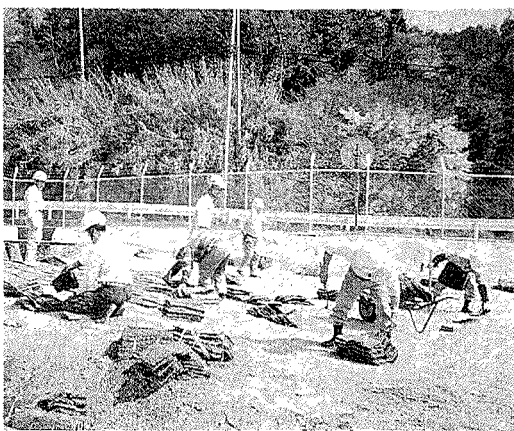
八時からの仕事で 気分的につらい

四月二日は、江南の小方の芝貼りの現場に行きました。海上自衛隊の燃料基地の東側がしキャック（強襲上陸用舟艇）の整備基地になるので、その周囲の斜面や平地に芝を貼る作業です。

私が行った時は衛門の近くの芝貼りが行われていました。

「二十五日から来ています。前はノリ（斜面）にも貼るのでむずかしかったが、今回は平面だけ。」

作業の手順は、まず地ならし、そして施肥、それが終わると割り付け、そして芝を置き、土をかけて終り。「地面をならしてない所を平らになおすことがあります。そういう所はたいい地面が固くて苦勞します。」



割り付けとは、芝を貼る地面を大休一メートルぐらいの幅をとってまっすぐ糸を張る作業、四角に切られた芝をその線にあわせて貼っていくのです。

「芝に大小があって、揃えるのに苦勞します。」

「来始めの頃は寒かったが、昨日、今日は天気が良くて助かります。」

地ならしの作業をされてた方は、

「人数が多い時は、固い所の地ならしがなかなか進まず、追われてつらかった。」

と話してくれました。

「つらいことは。」

と聞きますと、

「朝から晩までかがんでやるので腰が痛くなる。シルバ－の仕事は朝九時からだが、ここは八時からなので体が慣れておらず、気分的にもつらい」

と話してくださいました。そして、

「仕事の合い間に桜を見て楽しんでます。酒があれば本当にいいんだが。」

と笑ってつけ加えました。

芝はとてもきちんと並べてありました。

むし暑さの中、 ヘルメットにすねあて

五月の十日すぎ、誠心園の草刈り現場を訪ねました。この日は、デイサービスの建物のまわりの草刈り。ヘルメットにすねあてをつけ、汗だ



くだぐの作業でした。建物の窓の所に防護ネットが張ってあります。

「今日で三日目、上を二日ですませ、今日からここです。上は生垣の剪定も含め建物を一周しての作業、少しきつかった。でも、ここは早くすみそうです。」

休憩をとり、ベンチに座って話してくれました。

「初めて作業に来た時は金物などがあって危かったが、ここは毎年やるので、いまは安全です。」

「生垣の下はナメクジが多くて…」

建物の南側に夾竹桃が植えてあります。

「あの花が咲くと原爆を思い出します。」

原爆を思い出すのは私とて同じです。

「作業を始める前、そこらに駐車してあった車は移動してもらいました。いま刈っている草は寝ているので刈りにくい。一度掃いて刈るといいのではと思っています。」

「刈る時は、広い場所は二枚刃で、

われら町を

建物のきわは紐で仕上げます。」

いろいろな考えておられるのに感心しました。

「草刈機の講習後は手入れをよくするので調子がよく、仕事に楽しんでいます。」

いろいろな話してくださった事にお礼を言い、辞去しました。

竹は

九月から十月にきるもの

竹細工教室が毎週水曜日の午後にあるというので、ワークプラザの作業室を訪ねました。

私が訪ねた時はYさん一人。

「毎週四、五人は来る。今日は生花の台を作る予定です。台の柄の竹の根が今の時期はすぼれる。根が動いているので。根をとるのは冬場の動いていない時でないと。」

と話してくれます。そばのコスモスの花の作品を指して、

「コスモスは手間がかかって…。これからは交流館、小用の、切串の港の待合室に置きたい。そうしないと売れないから。」

竹細工にかける夢はふくらみます。そのうちに一人、二人と常連の姿が見え、作業室はにぎやかになります。

「今日は何を作るのですか。」

「六月の九日・十日に青年の家に来る中学生に竹細工を教える準備。作るのは竹トンボ。」

と言いつながらマダケをバインダーで固定して、

「トンボの羽の長さは十二センチ。材料はハチクかマダケ、肉の厚さがちょうどいいけん。」

と言いつながら切ります。

一人は竹を切る。その竹を二センチ幅で割る人二人、二十五センチの長さの柄を作る人一人と、いつの間にか仕事に分担されて進んでいます。割っている竹の中には虫のくったものもあります。

「切る時期が悪かったんで。」

竹を切るのは九月から十月、遅くとも十一月には終わりにしなければならぬ。と教えてくれました。



木陰で草刈機講習会

四月二十八日の午後一時から江田島公園で草刈機の整備についての講習会があると聞き、出かけました。三十人近くの方が集まり、講習会が始まりました。

山佐理事長が「基礎的なことを理解して、これからの作業に役立ててください。」と挨拶。

講師は浜坂さん。分解した刃の部分を手にとって

「刃をすえかえる時は掃除をする。分解してみると草の切れ端がまつわっているのがわかります。」

事実、手に持っている部品には草がまつわりついています。

「使ったら分解してグリースを入れるようにすると調子がよくなる。また、石に二・三回当てたら分解して締め直す。締め方は左締め。右はゆるめです。また、刃を固定する時はストッパーを使ってやる。刃をもつてやらないことです。」

と、ていねいな説明が続きます。

「刃の回転部分にゴミが入っているとベアリングが磨耗して歯がガタガタになります。掃除をして、グリースを入れることです。」

「グリースは…」

「一つの場合所に一箇用意してあります。」

次はエンジン部分で

「エンジンをはずす。エンジン部分で」



シルバーは有料ボランティア

―切串地区懇談会―

六月八日午後一時から切串地区懇談会が切串公民館でもたれました。

出席者は切串地区から五名、それに山佐理事長。司会は森、記録は下谷でした。

* * *

司会 今日はお忙しいところを集まっていただき、有難うございました。地区懇談会も中央を皮切りに一巡し、切串が最後になりました。シルバーについての意見などを、今日は存分に出してもらいたいと思っています。

山佐 先日、中国五県のシルバーの代表が集まって総会を持ちました。強く感じたことは、どのシルバーもやる気に満ちているということでした。山口県のシルバーはどこも契約高が一億円以上と頑張っています。わが江田島には新しくワークプラザが出来ました。これからの課題は、これをいかに活用するかということです。竹細工、面づくり、組木にとりくんではいますが、今後は刃物研ぎ、障子、襖の張替え、これはすでに注文が来ていますが、なお新たな分野の開拓に力を入れなければと思っています。いろいろ知恵をかしてください。

司会 シルバーの会員になられ、仕事についてもらっていますか。

年三回発行にしたら

司会 広報紙に対する注文はありますか。委員長も来ていますので。土手 前のアンケートにも書いたけど、年三回は出してほしい。

下野 原稿集めが大変じゃないか。井川 発行回数を増やすと、確かに原稿集めは大変だと思います。私の入っている旧満鉄のOB紙は年に十二回会報を出しています。その原稿依頼が割当て、書くのが大変です。

この前、旧海軍兵学校の紹介を書いて送ったら、編集係から四回の連載にさせてくれという依頼がありました。写真もたくさん送ったので、そのせいかもしれませんが。土手 原稿が集まらないので連載にするのどうね。

井川 連載にするのはいいが、前



の号で書かれていることを忘れていて、どうも...。

司会 年三回でも委員会としては対応できるのですが予算との関係がありますから...。

入会者の紹介、文芸欄を設ける

下野 年三回にすれば会員の動きもよく分かると思うが...。

司会 会員から原稿を出してもらえれば...。

土手 三回にして、四か月間の入会者を紹介するようにしたら。

井川 短歌などを募集し、それに加川先生の講評を載せたら...。

下谷 文芸欄は設けたいですね。今度の号で募集しましょう。

山佐 シルバー江田島は町会報と一緒に回覧していますが、読まれていますか。

下野 あまり見ることはない。井川 回覧が回ってくるのが早い。あまり読まれていないのではないんですか。

山佐 いろんなものと一緒に来ますからね。

「うじゃけん」というのはどうも

井川 シルバーは失業対策事業の延長と考えている人が年寄りにいます。この考え方を要する努力が必要だと思います。

土手 「年寄りじゃけん」などのように「うじゃけん」という言葉は

使ってほしくない。やる気を殺されるような気がして...。

司会 それはそうですが、私達はある一定の年になっているので無理はしないようにしてほしいと思います。自分の健康、体力を考えて仕事につくようにしなければ。決して無理はしないことです。

井川 私は力仕事は出来ないから、親和園の宿直と術校の案内をしています。

山佐 自分で判断して仕事をするのが大切だと思っています。

司会 いずれにしろ、自分の年令を考え、自分の能力が発揮できるのがいちばんだと思います。



自分の体験、思いをこめてガイドする

下野 先日、旅行で水戸に行きました。そこではシルバーの人が徳川家の案内をしていました。術校案内もシルバーの機関紙で全国的に紹介してもらったら。

山佐 術校ガイドは以前全国的に紹介されたことがあります。

司会 シルバーになって三年目に江田島が紹介されたことがあります。山佐 呉市を中心とした一市十二町が機関紙を出していますが、先日、その記者が取材に来ました。

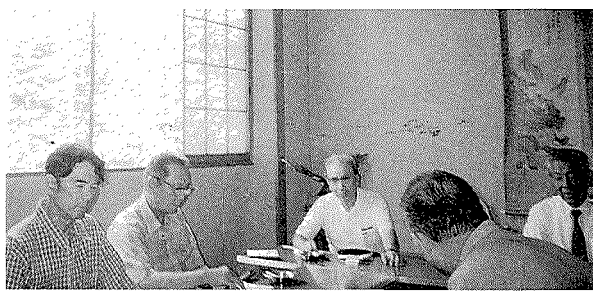
司会 ガイドは尾道が発端です。これが全国的に広がってきたようです。江田島の場合、術校ガイドはボランティアでやることから始まりました。土手 今日、六月八日は戦艦陸奥が沈んだ日です。そこで、ガイドの折にそれにまつわる話をしました。私達は戦中戦後を生きてきた、その体験、その時の思いを話すことが見学者に強い感銘を与えるのではないかと思います。

お年寄りがとても

喜んでくださる

下野 ヤクルトを配ってはどうですか。

今井 先日、ヤクルトを配っている人たちと意見交換をしました。その時、中の一人が「シルバーは何の関係があるのか」と聞かれました。一体、どうなっているんです



か。私は、老人の訪問を兼ねてヤクルトを配っているんですが。

山佐 配り方はいろいろです。中郷では女性会が配り、その報酬は女性会に入れています。

司会 以前は女性会がやっていたのですがやめる所が出て来、今ではほとんどの所がやってないはずなんです。それでシルバーが引き受けたのです。**今井** ヤクルトを届けるとお年寄りがひどく喜んでくれ、上がって話していきんさいと言われ、話を聞くことがよくあります。

山佐 ヤクルトを配るのが目的ではなく、お年寄り、それも一人暮らしのお年寄りの様子を見るのが主目的です。話をしたり、聞いてあげたりするのはいいことです。

いろんな仕事に

名を連ねている人が多いが

井川 この前、事務所に行ったら障子張りをしていました。あれは専属の人がやっているんですか。

山佐 今までやっていた人がいます。今まではその家に行ってやっていましたが、この前はそうではありません。

土手 「わしがやる」と名乗り出る人がおらんのでは…。

司会 経験のある人が呼び掛け、障子、襖張りを教えるといいと思いますが。

今井 一人暮らしの人は、してもらいたいのでは…。
下野 やらなければ腕は上達しませ

んよ。

司会 剪定のほうは…。

土手 松は芽摘み、ほかは刈り込みです。行ったことのない家から来てくれと言われるので、増えているのではないかと思います。

井川 剪定できる人は何人ぐらい。

土手 剪定に名を連ねている人は多い。でも、なれていない人と連ろうて行って、さえん思いをさせてはいけんし、気を使います。

下野 暑い中の草刈り、ペンキ塗りは大変です。

土手 いろんな所に名を連ねているから、いろんな仕事をやるようになります。

司会 はじめの頃は仕事がありませんでした。はじめて剪定の仕事をしました。

下野 私は誠心園ではじめて剪定の仕事をしました。

司会 今は会員も二〇〇名をこえたし、剪定の仕事も増えているので専門的にした方がよいのでは…。

井川 一億円以上の所はどんな仕事をしているのですか

山佐 盆灯籠、しめ飾りを作る。大竹では企業の仕事をしています。

シルバーは

有料ボランティア

土手 江田島では公共と私用は半々。他の所は件数は少なくても契約高が大きい。

司会 シルバーはもうけよりも地域の為になる仕事をする。

樽本 シルバーの人はよう仕事をす

る、と、どこへ行っても言われます。特に、おばあさんのいる家では四時に帰れない。いろいろと用事を言いつけてきて。それでも、やってあげると喜ばれるので、つい、やります。**井川** シルバーは有料ボランティアですね。

樽本 ボランティア精神がなければいけないと思いますね。

町はもっと観光に

力を入れたら

司会 耕作を放棄した畑が多いが、そこを借りて花や野菜を作ったら。**井川** 花づくりなどはいいでしょ

ね。術校の見学に来た人に「見学する所はここだけですか。」と聞かれ、困ることがあります。

司会 切串にある遊休地を町が借りあげ、一坪農地として広島などの人に借すようにしたら。管理をシルバ

ーが引き受けて…。

土手 切串はそういう意味で利用価値がうんとあります。

井川 術校はどこにあるのですかとよく聞かれます。案内表示を出すことを考えてほしいですね。

* * *

あと町役場、親和園の宿直の話も出ましたが紙面の都合で割愛させていただきます。



保健婦さん
からの
アドバイス

高齢者の健康管理シリーズⅦ 生活習慣病予防のための基礎知識

Ⅱ 虚血性心疾患 Ⅱ

虚血性心疾患は、心臓の筋肉（心筋）に酸素や栄養をおくる動脈が硬くなったり、血栓（血のかたまり）などで詰まって心筋が、酸素不足になり、心臓の働きが低下したり停止することをいいます。

欧米諸国では心臓病が死因順位の第一位を占める国が多く、中でも狭心症や、心筋梗塞などの虚血性心疾患が圧倒的に多く見られます。

わが国でも、食事内容が欧米化してきたことや、社会でのストレスが増えてきたことなどから、今後心臓病も欧米型になり虚血性心疾患は増

（5ページからの続き）

てよく拭き、それからプラグをはめて火の出具合を見ます。火がよく出たらプラグをエンジンにはめてかけるようにする。それでもかからない時は、プラグを外してガスを抜いてみるとよい。また、吸気孔、排気孔の掃除は毎日することです。」

と、実際にやってみながらの説明が続きます。時々、冗談が飛びますが、参加者は皆、熱心に説明に聞きいり中には部品を手にとって、言われた手順をふむ人もいました。

「機械音痴の私たちにはどうも……山佐さんとう言い交わしながら、その場を後にしました。」

加することが予想されます。

高血圧、高コレステロール血症、喫煙を心筋梗塞の三大危険因子といいますが、このほか、心電図異常、肥満、糖尿病、痛風、運動不足、呼吸機能低下、ストレス過度の飲酒、遺伝なども危険因子とされています。従って、予防には、これらの危険因子をいかに減らすかが重要となります。

食生活、運動を始めとする毎日の生活習慣を改善するとともに、年に一回は健診（基本健康診査）を受けましょう。

江田島町では、八月十八日～八月二十八日まで、町内九地区を巡回して、基本健康診査をはじめ、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん検診と骨密度検診、結核検診をおこないますので、是非この機会に受診され、自分の健康は自分の手で、また我が家の健康は私からをモットーに、健康な毎日を送られるようおすすめます。

なお、健診については、役場福祉保健課にお問い合わせください。



目指そう無災害

一人一人の安全意識

シルバー事業の実施に当たっては、会員の安全就業が基本です。

そのため、本年度も七月一日から七月三十一日までを全国シルバー人材センター「安全就業強化月間」と定められました。

標題は今年度のスローガンです。

全国シルバー人材センターの資料により、平成九年度の重篤事故（入院六ヶ月以上と死亡）は二十八件で、そのうち十八件が就業途中の交通事故となっています。

当センターでは平成九年度における仕事上の事故、通勤途中の事故等の傷害補償事故が十件と前年の二件に対して激増しています。

これを重視して、交通安全講習会を期間中に開催いたします。

その他安全就業パトロールの強化、安全就業集会等を計画しております。

会員の皆さんには、日頃から就業途上の交通事故防止、作業の安全、自己の健康管理についてお願いしておりますが、これを機に一層の安全意識を高めていただきたいと思います。

交通安全講習会

- ・日時 七月十八日 午後一時半
- ・場所 江田島町シルバーワークプラザ

投稿大歓迎

会員の皆さんが口頭たしなんでおられる文芸、写真などの作品を広報委員会までお届けください。

・応募作品

一、文芸作品
短歌、俳句、川柳、随想など

二、写真

・応募方法
一、文芸作品の場合は事務局にある原稿用紙に記入のうえ提出を

二、写真は撮った場所、その写真についての思い

三、期限

五月末、十月末の二回
なお、応募された方には参加賞を考えています。

編集後記

今年は雨がやけに多く、作業にも支障が出ていることでしょう。でも、ワークプラザで皆さんの元気な姿に接するとすごく嬉しくなります。

切串の座談会で広報誌の内容を充実していくうえでとても有益な意見をいただきました。早速、次号から紙面をにぎあわせたいと思います。

大勢の方のご応募をお願いします。気候不順の折、お互いに健康に留意し、元気で仕事に励みましょう。